

令和4年度福祉に関するアンケート調査結果 (クロス集計B_就労に関する分析)

【全員】

問22 あなたは今後、どのような障害福祉サービス等を利用したいと考えていますか(項目ごとに1つだけ選択してください。)

※就労系サービスのみ

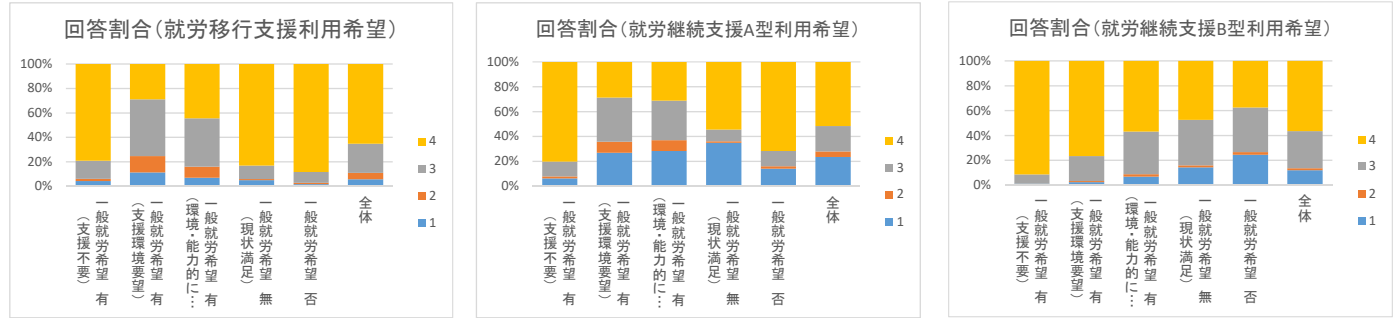
B1 ⇒【問24】今後の一般就労希望 回答ごとの分析

		一般就労希望				一般就労希望 否	全体
		有 (支援不要)	有 (支援環境要望)	有 (環境・能力的に難)	無 (現状満足)		
就労移行支援	1 希望	15	78	57	39	18	207
	2 見込大	7	94	73	7	11	192
	3 見込小	53	322	324	86	89	874
	4 見込無	284	201	362	646	899	2392
就労継続支援A型	1 希望	23	189	240	292	147	891
	2 見込大	6	62	75	10	19	172
	3 見込小	43	249	269	80	129	770
	4 見込無	293	200	265	455	743	1956
就労継続支援B型	1 希望	4	17	56	116	253	446
	2 見込大	0	5	17	12	21	55
	3 見込小	27	138	282	295	370	1112
	4 見込無	330	522	469	382	387	2090

※各選択肢の詳細

- 1 現在使っており、引き続き使いたい又はすぐにも使いたい
- 2 近いうちに使いたい、サービスを受けられるのであれば使いたいと思う
- 3 現時点では必要だと思っていないが、将来(10年程度以内)に使うことがあるかもしれないと思う
- 4 使う見込みはない

※回答割合・・・一般就労を希望するかどうかの設問に対し各選択肢を選択した者ごとの、各サービスの利用希望状況の回答割合



就労移行支援、就労継続支援A型ともに、「一般就労希望があり支援環境を求める」者と、「一般就労希望はあるが環境や能力的に難しい」者の約35%が「現時点では必要だと思っていないが、将来(10年程度以内)に使うことがあるかもしれないと思う」と回答している。また、就労継続支援A型については、「一般就労希望があり支援環境を求める」者や、「一般就労希望はあるが環境や能力的に難しい」者、「現状に満足しており一般就労を希望しない」者の約30%が「継続的にまたはすぐにも利用したい」と回答している。

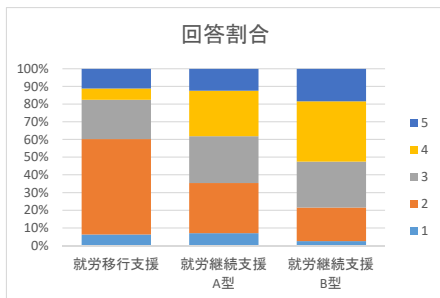
【問23で、「3」から「7」までのいずれかを選択した方のみ】

問24 あなたは今後、作業所(就労継続支援事業所等)以外の一般企業等で収入を得る仕事をしたいと思いませんか。 ※選択単答

B2-1 ⇒【問20】現在利用している障害福祉サービス 回答ごとの分析

		就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型
1	一般企業等で仕事をしたい。特に支援を受けなくてもできると思う	4	8	23
2	一般企業等で仕事をしたい。就労するための訓練を受けたり、職場環境の配慮があるなど、必要な支援があればできると思う。	34	32	169
3	一般企業等で仕事をしたいが、職場環境や自身の能力的に難しいと思う	14	30	232
4	現状に満足しており、一般企業等で仕事をしたいとはあまり思わない	4	29	303
5	一般企業等で仕事はしたくない	7	14	164

※回答割合・・・現在の就労系サービス利用者ごとの、一般就労希望状況の回答割合

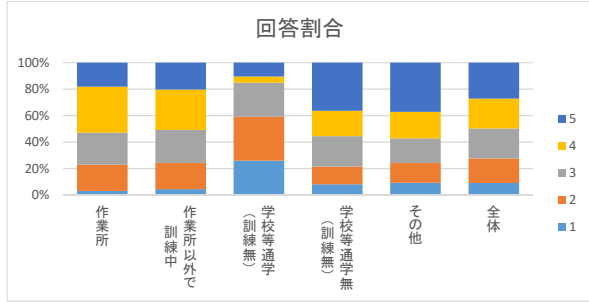


いずれのサービス利用者でも、全体として40%以上の者が一般企業等で仕事をしたいと回答している。就労移行支援サービス利用者では約55%の者が、就労継続支援A型では約30%の者が、就労継続支援A型では約20%の者が、「一般企業等で仕事をしたい。就労するための訓練を受けたり、職場環境の配慮があるなど、必要な支援があればできると思う。」と回答している。

B2-2 ⇒【問23】現在の就労状況 回答ごとの分析

	作業所	作業所以外で 訓練中	学校等通学 (訓練無)	学校等通学無 (訓練無)	その他	全体
1 一般企業等で仕事をしたい。特に支援を受けなくてもできると思う	39	8	144	87	109	387
2 一般企業等で仕事をしたい。就労するための訓練を受けたり、職場環境の配慮があるなど、必要な支援があればできると思う。	250	35	184	142	177	788
3 一般企業等で仕事をしたいが、職場環境や自身の能力的に難しいと思う	306	44	143	246	217	956
4 現状に満足しており、一般企業等で仕事をしたいとはあまり思わない	437	54	26	206	237	960
5 一般企業等で仕事はしたくない	229	36	58	388	436	1147

※回答割合・・・一般就労していない者の現在の就労訓練等の状況について各選択肢を選択した者ごとの、一般就労希望状況の回答割合



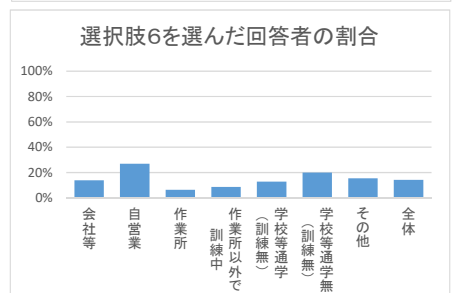
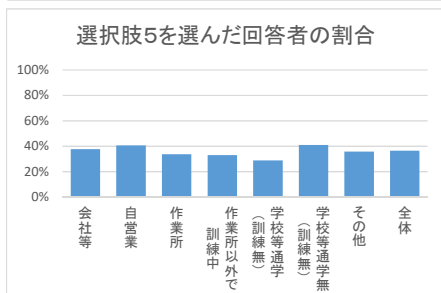
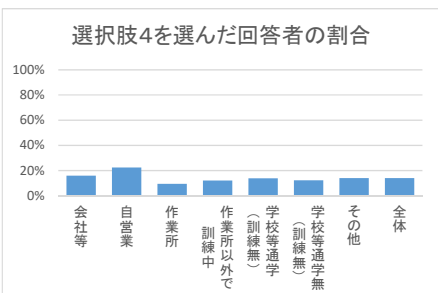
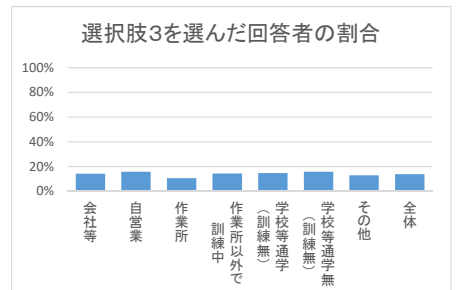
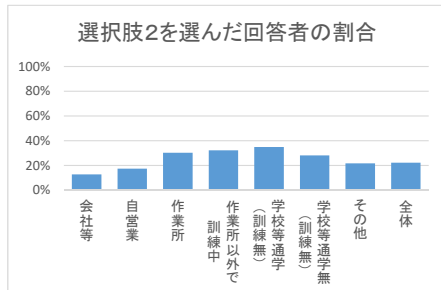
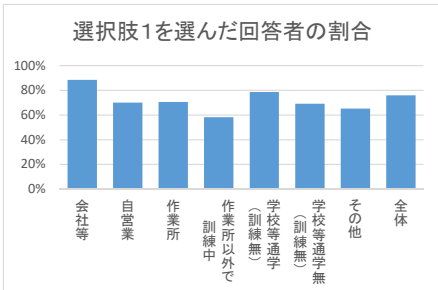
全体として約半数の者が一般企業等で仕事をしたいと回答している。学校等通学者については、80%以上が一般企業等で仕事をしたいと回答しており、20%以上の者が「一般企業等で仕事をしたい。特に支援を受けなくてもできると思う」と回答している。

【全員】

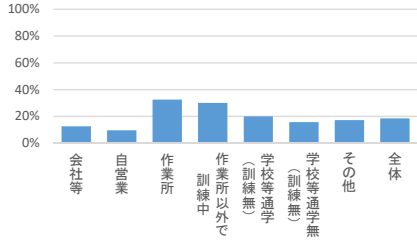
問25 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。 ※選択3つまで

B3-1 ⇒【問23】現在の就労状況 回答ごとの分析

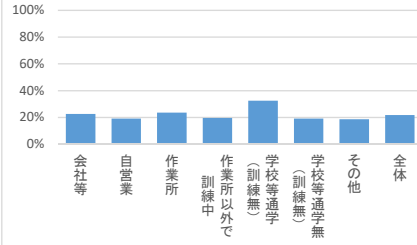
	会社等	自営業	作業所	作業所以外で 訓練中	学校等通学 (訓練無)	学校等通学無 (訓練無)	その他	全体
回答数	2528	241	1246	173	584	1067	1230	7472
1 職場の上司や同僚に障がいに対する理解があること	2240	169	880	101	460	740	804	5677
2 職場で介助者による介助や援助等のサポートが受けられること	323	42	377	56	204	301	267	1659
3 障がい特性に応じた道具、機器等が整備されていること	358	38	132	25	86	169	159	1032
4 勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	405	54	119	21	81	131	172	1054
5 短時間勤務や勤務日数等の配慮	954	98	420	57	168	437	439	2726
6 在宅勤務の拡充	353	65	80	15	75	213	191	1062
7 職場への通勤の支援	317	23	405	52	117	168	211	1381
8 就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	572	46	294	34	190	205	230	1631
9 仕事についての職場外での相談対応、支援	534	38	216	36	87	152	180	1305
10 より就職につながりやすい職業訓練、就労訓練	286	27	165	40	106	145	129	947
11 その他	61	10	38	6	17	52	205	409



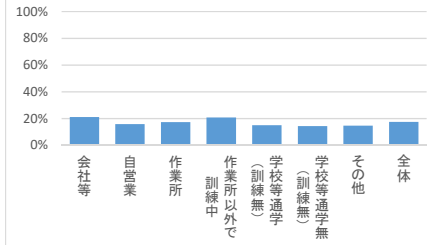
選択肢7を選んだ回答者の割合



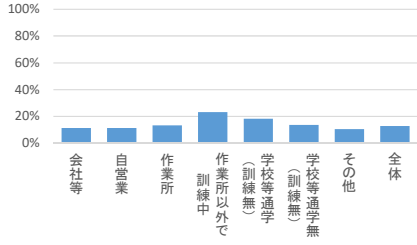
選択肢8を選んだ回答者の割合



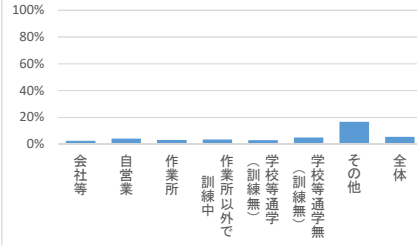
選択肢9を選んだ回答者の割合



選択肢10を選んだ回答者の割合



選択肢11を選んだ回答者の割合



現在の就労状況によらず、「職場の上司や同僚に障がいに対する理解があること」を選択した者の割合が最も高くなっている。